

第4回 仁淀川流域治水協議会

議事録

日時：令和3年2月8日(月) 13:00～13:40

場所：高知河川国道事務所4階会議室

1. 出席者

- ・高知市長 岡崎 誠也（代理出席：河川水路課 課長補佐 正源 陽一）
- ・土佐市長 板原 啓文
- ・いの町長 池田 牧子
- ・仁淀川町長 大石 弘秋
- ・佐川町長 堀見 和道
- ・越知町長 小田 保行
- ・日高村町 戸梶 眞幸
- ・高知県危機管理部長 堀田 幸雄（代理出席：危機管理部 副部長 竹崎 幸博）
- ・高知県農業振興部長 西岡 幸生（代理出席：農業振興部 副部長 有馬 弘一）
- ・高知県林業振興・環境部長 川村 竜哉
- ・高知県土木部長 村田 重雄（代理出席：土木部 副部長 浦田 敏郎）
- ・中国四国農政局地方参事官 増尾 学
- ・四国森林管理局嶺北森林管理署長 福吉 修二
（代理出席：嶺北森林管理署 次長 藤原 将勉）
- ・森林整備センター高知水源林整備事務所長 木立 英一
- ・高知地方気象台長 佐伯 亮介
- ・四国地方整備局大渡ダム管理所長 市原 道弘
- ・四国地方整備局高知河川国道事務所長 多田 直人

2. 議事

事務局より、規約の変更、流域治水に関連する各構成員の取組について説明。

○（土佐市）

仁淀川流域治水推進検討委員会の中間とりまとめについては、現時点ではアイデア出しの状況であるが、流下能力向上や貯留タンク設置など補助金を活用しながらやれることからやっていく。水門や樋門については、施設の老朽化や施設管理者の高齢化が進んでおり、施設を維持管理する上で課題を抱えている。立地適正化計画については、居住誘導区域と家屋倒壊等氾濫想定区域が重複する箇所については、平屋を2階建てにするなど、被害軽減に向けて住民への広報のあり方について議論しているところである。田んぼダムについては、農地整備とうまく連携して進められたらと考えて

いる。波介川及びその支川の河川整備も進めていただきたい。

○（いの町）

鎌田井筋の溢水については、12月の町議会において全会一致で国への意見書を採択した。国が事業主体として実施してもらおうよう、土佐市とも連携し要望を行うとともに、流域治水を進めていくことを議会でも宣言した。今後も引き続き、対策案について検討してもらいたい。いの町は、堤防近傍に住家が連担する市街地が位置し、人口が密集しているため、安全・安心な地域の実現に向け、堤防補強などによる対策をお願いしたい。

○（日高村）

日高村では、「日高村水害に強いまちづくり条例」の制定に向けて動いており、特定都市河川浸水被害対策法の改正も睨みながら、今年度と来年度の2段階で条例を施行することを予定している。インフラツーリズムについては、日高村にある放水路や調整池などの治水施設を活用していくことを考えているが、日高村だけでは難しい面もあるため、土佐市にある波介川導流路、いの町にある放水路、仁淀川上流の大渡ダムも絡めながら、取組を進めていきたい。

○（中国四国農政局）

農地の多面的機能の発揮については、農地で営農しながら洪水量を低減するものであり、効果の定量化は難しいものの着実に進めて行くことが必要である。中山間地域等直接支払制度なども資料で紹介されているが、流域の治水のために「農地保全」の取組も積極的に検討していただきたい。

○（高知県林業振興・環境部）

森林整備については、従前より森林整備5ヵ年計画に基づいて取組んでいるところである。流域治水プロジェクトへの位置づけについては、関係機関と協議しているところである。

以上